

2024年（令和6年） 研究業績

講座・研究室名： 認知症治療学講座

所属長・責任者名： 本井 ゆみ子

開設の目的・概要等			2024より認知症基本法が施行され認知症患者をめぐる社会体制が整備されつつある。認知症治療学講座では認知症治療を目的とした基礎研究と臨床研究を行う。基礎研究としてはアルツハイマー神経原線維変化の構成成分であるタウ蛋白に焦点をあて、①シード依存性タウ凝集を基板とした血液マーカー開発、②シード依存性タウ凝集薬スクリーニング、③危険因子であるアポEとの相互作用の分子メカニズム解明を目指す。臨床では認知症疾患医療センター物忘れ外来受診患者のデータベース作成をおこない、3DT1MRI画像を長期にfollowすることにより、認知機能進行度との対比および予後予測④、アミロイド沈着との関連研究⑤を行う。更に、介護施設におけるBPSD発症の予防にむけた合同の検討会⑥やBPSD発症抑制の試みを行う。		
区分	番号	学位論文	全著者名,論文名,掲載誌名,掲載年;巻(号):ページ番号,DOI	DOI	国際共同
英文原著	1	+	Imtiaz A, Shimonaka S, Uddin MN, Elahi M, Ishiguro K, Hasegawa M, Hattori N, Motoi Y. Selection of lansoprazole from an FDA-approved drug library to inhibit the Alzheimer's disease seed-dependent formation of tau aggregates. Front Aging Neurosci. DOI 10.3389/fnagi.2024.1368291.	-	
英文原著	2	*	Shimizu E, Goto-Hirano K, Motoi Y, Arai M, Hattori N. Symptoms and age of prodromal Alzheimer's disease in Down syndrome: a systematic review and meta-analysis. Neurol Sci. 2024;45(6):2445-60.	-	
英文原著	3	*	Yamashiro K, Takabayashi K, Kamagata K, Nishimoto Y, Togashi Y, Yamauchi Y, et al. Free water in gray matter linked to gut microbiota changes with decreased butyrate producers in Alzheimer's disease and mild cognitive impairment. Neurobiol Dis. 2024;193:106464.	-	
区分	番号	-	発表者名,発表タイトル(題目・演題・課題等),学会名,場所,発表年月日等	DOI	国際共同
国際学会発表	1	/	Motoi Y, Elahi M, Shimonaka S, Uddin MN, Imtiaz A, Ishiguro K、Diabetes Mellitus, Physical Exercise and Alzheimer's Disease-related Tau Pathology、Sportology in Aging Society, 4th Congress, International Academy of Sportology、Tokyo, Japan、June 1, 2024		
国際学会発表	2	/	Imtiaz A, Uddin MN, Elahi M, Koide H, Niba E, Shimonaka S, Nakajima M, Ogino I, Ishiguro K, Motoi Y, Hattori N、Mir-532-5P and Vesicular Associated Membrane Protein-1 (Vamp1) After Running Wheel Exercise in Mice、Sportology in Aging Society, 4th Congress, International Academy of Sportology、Tokyo, Japan、June 1, 2024		
区分	番号	-	発表者名,発表タイトル(題目・演題・課題等),学会名,場所,発表年月日等	DOI	国際共同
国内学会発表	1	/	本井ゆみ子、ランソプラゾールのタウ凝集抑制への効果、タウ研究会2004、滋賀、2024年8月24日		
国内学会発表	2	/	下中翔太郎、人工変異tauを用いたtau strain識別と凝集阻害の試み、タウ研究会2004、滋賀、2024年8月23日		
国内学会発表	3	/	下中翔太郎、石黒幸一、本井ゆみ子、服部信孝、長谷川成人、人工変異tauを用いたtau strain識別と凝集疎外の試み、第34回日本認知症学会学術集会、福島、2024年11月21日～23日		
国内学会発表	4	/	竹重遥香、大山彦光、小川真裕子、布施木景子、神戸泰紀、波多野琢、本井ゆみ子、河上緒、安藤真矢、中山茶千子、石田義則、前井俊、呂湘濤、太田進、森藤健、伊藤良峻、中嶋康博、頼高朝子、加藤忠史、服部信孝、チャットボットを用いた笑顔と会話によるアルツハイマー病診断、第34回日本認知症学会学術集会、福島、2024年11月21日～23日		
国内学会発表	5	/	高山敏樹、廣瀬匠、後藤政実、代田浩之、中島円、村上康二、本井ゆみ子、認知症外来における臨床的アルツハイマー病画像診断の脳内アミロイド集積予測能検討、第34回日本認知症学会学術集会、福島、2024年11月21日～23日		
国内学会発表	6	/	イミティアーズ アハメド、下中翔太郎、石黒幸一、長谷川成人、服部信孝、本井ゆみ子、ランソプラゾールはアルツハイマー病シード依存性タウ凝集を制御する、第34回日本認知症学会学術集会、福島、2024年11月21日～23日		